【専門医派遣31】

**令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書**

学校名　　南島原市立西有家中学校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **実施日** | 令和 6　年　9　月　19　日(木) | | | |
| **場　所** | あけぼの会館 | | | |
| **講　師** | 医療法人　いその産婦人科　　磯 野　　潔　氏　（ 産婦人科医 ） | | | |
| **形　態** | ・講話　・職員研修　・その他（　　） | | | |
| **参加者** | 生徒<br>（　3　）学年<br>（　54　）人 | 学校職員<br>（　7　）人 | 保護者<br>（　0　）人 | その他<br>（　　）<br>（　0　）人 |
| **テーマと内　容** | テーマ【　性、いのちについて自分の考えを広げよう　】<br><br>内容(具体的に)<br>・妊娠と出産について　(妊娠のしくみ、経過、胎児の発育)<br>・「性」について　(性にはいくつかの意味があり、家族は性によりつながっている)<br>・思春期の男女交際について(相手に対する優しさ、勇気)<br>・性感染症について(種類、症状)<br>・スマホの使用について(プライバシーを公開しない)<br>・人工妊娠中絶について(現状、小さな命を守る会の概要と働き)<br>・子宮頚がんについて(現状、井出　智さんの紹介、HPV ワクチン) | | | |

**＜当日の様子＞**

**＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞**

性は、心と体を一緒に持った言葉で、意味はいくつかある。家族は性によって繋がっているので性は私たち社会にとってなくてはならない要素であると思います。お互い興味を持ち相手を好きになったら、男女交際で大切なことは、相手に対する優しさであり、男の子は気持ちを抑える勇気、女の子ははっきりと断る勇気が必要です。性的接触を持つことは、思いがけない妊娠と性感染症という危険性が伴っているということなど、映像を使った説明でした。また、人工妊娠中絶の現状から小さな命を守ることの取組を紹介され、生徒は自他ともに「命の尊さ」を考えさせられました。子宮頸がんは、女性だけでなく男性にも影響を及ぼすこともあり、ワクチン接種も選択の一つとして考える必要があることを学びました。

生徒は、特に男子が「性」についてイヤなイメージがあったようですが、講話後の感想から性の本当の意味が分かり、命の大切さや命の重みを感じている生徒が多かったと思います。

【専門医派遣32】

**令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書**

学校名　　長崎県立中五島高等学校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **実施日** | 令和　6 年　10 月　2 日( 水 ) | | | |
| **場　所** | 長崎県立中五島高等学校　体育館 | | | |
| **講　師** | 長崎県上五島病院　産婦人科　　久米　可奈子 氏　　( 産婦人科医 ) | | | |
| **形　態** | (講話)　・職員研修　　・その他(　　) | | | |
| **参加者** | 生徒<br>(　　3　　) 学年<br>(　　45　　) 人 | 学校職員<br>( 10 )人 | 保護者<br>(　4　)人 | その他<br>(　　)<br>(　　0　　)人 |
| **テーマと内　容** | テーマ【　性に関する話　】<br>内容(具体的に)<br>○性的同意　○性行と妊娠　○男性と女性の性に関する悩み(包茎、自慰、月経)<br>○避妊・妊娠中絶について　○デート DV・ジェンダーについて　○性感染症<br>○子宮頸がんワクチンについて | | | |

**＜当日の様子＞**

**＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞**

・性的同意について YouTube 動画を視聴(Consent-it's simple as tea(日本語版))
・男性と女性で性に関する悩みが違う。お互いに理解する必要がある。
・世の中には間違った避妊方法の情報が流れている。大人でも間違った情報を認識している人がいる。
・中絶は女性の権利。中絶を繰り返ししないように責任をもって、考えて行動するように。
・性感染症では、梅毒が流行している。コンドームが性感染症の予防方法である。
・子宮頸がんワクチンは、キャッチアップがされている。子宮頸がんワクチンを接種することを推奨。

〈生徒の感想より〉

○男女で性に関する悩みが違うことが分かった。(生理って大変なんだ・男子も悩んでいてお互い大変)
○性的同意についての動画が分かりやすかった。
○自分の意思を相手に伝えることが大切だと分かった。嫌な時はしっかり嫌と伝える。
○100%の避妊方法がないと知ることができた。
○子宮頸がんワクチンにかかる費用が想像した以上に高かった。キャッチアップ期間中に、ワクチンを打とうと思った。
○友人などからの情報で、間違った情報を覚えていたことに気づいた。

【専門医派遣33】

**令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書**

学校名　長崎県立五島南高等学校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **実施日** | 令和 6 年 10 月 30 日(水) | | | |
| **場　所** | 体育館 | | | |
| **講　師** | 医療法人社団 福江産婦人科医院　池田 陽子　氏　( 産婦人科医 ) | | | |
| **形　態** | (・講話)・職員研修　・その他(　　) | | | |
| **参加者** | 生徒<br>(　全　) 学年<br>(　68　) 人 | 学校職員<br>(20 )人 | 保護者<br>(　0　)人 | その他<br>(　　)<br>(　0　)人 |
| **テーマと内　容** | テーマ【すてきなあなたへ～自分らしく輝く人生をチョイスするために～】<br>内容(具体的に)<br>① 産婦人科ってどんなところ？<br>② 低用量ピルについて<br>③ 結婚適齢期と出産適齢期について<br>④ LGBQ＋について<br>⑤ デート DV について<br>⑥ 子宮頸がんワクチンについて<br>⑦ DVD 視聴 | | | |

**＜当日の様子＞**

**＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞**

・ 講師から上記の6項目で具体的でわかりやすく話していただいた。産婦人科医として、結婚適齢期と出産適齢期があることも強いメッセージとして伝えられていた。さらに DVD の内容が若者の目線で描かれており生徒たちに性教育の大切さを強く訴えることができた。中でも女子中学生の妊娠体験の手紙は生徒たちの心に強く響いたと思われる。感想に・講話を聴いて性について正しく学ぶことができた。・現在交際中と思われる男子生徒から「危ないと思った。気をつけようと思った。」とあった。・性行為を簡単にしてはいけない。・産婦人科が行きやすいところだとわかった。・自分や相手を大切にしていきたい。等、講話後の感想文から多くの生徒の変容がみられた。

【専門医派遣34】

**令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書**

学校名　　長崎県立奈留高等学校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **実施日** | 令和 6年 7月 18日( 木 ) | | | |
| **場　所** | 長崎県立奈留高等学校　図書館 | | | |
| **講　師** | 長崎県五島中央病院　産婦人科　　近藤　さやか　氏　　( 産婦人科医 ) | | | |
| **形　態** | (・講話)　・職員研修　　・その他(　　) | | | |
| **参加者** | 生徒<br>(　1～3　) 学年<br>(　22　) 人 | 学校職員<br>( 17 )人 | 保護者<br>(　0　)人 | その他<br>(　　)<br>(　0　)人 |
| **テーマと内　容** | テーマ【　思春期のこころとからだ、月経について　】<br>内容(具体的に)<br>・プライベートゾーンは他人に見せない、撮らせないこと。<br>・自分自身の体の大切さ<br>・月経の仕組み<br>・月経困難症について<br>・月経痛への対処法(鎮痛薬や低用量ピル等)<br>・産婦人科の説明 | | | |

**＜当日の様子＞**

**＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞**

・月経に関する意識が上がり、女子生徒からの相談が増えた。
・男子生徒も講話の感想を話してくれて、男子生徒と月経について話をすることができた。
・今まで受診を嫌がっていた生徒が、前向きに受診の話をしてくれるようになった。
・自分の体や命の大切さについて考えるきっかけとなった。

【専門医派遣35】

**令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書**

学校名　　五島市立福江中学校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **実施日** | 令和　6年　10月　24日（ 木 ） | | | |
| **場　所** | 本校体育館 | | | |
| **講　師** | 長崎県五島中央病院　産婦人科　近藤　さやか　氏　（ 産婦人科医 ） | | | |
| **形　態** | ・講話　・職員研修　・その他（　　） | | | |
| **参加者** | 生徒<br>（　　3　　）学年<br>（　156　）人 | 学校職員<br>（　10　）人 | 保護者<br>（　0　）人 | その他<br>（　　）<br>（　　0　　）人 |
| **テーマと内　容** | テーマ【　　思春期のこころとからだ　　】<br>内容（具体的に）<br>・これからの人生について<br>・自分の「だいじ」を知ること<br>・正しい「知識」を持つこと （生理について　・妊娠について） | | | |

**＜当日の様子＞**

**＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞**

【講師からの指導・助言について】

〇人生は自分で決められることも決められないこともある。また、あの時こうしておけばよかったと思って、やり直しができることも叶わないこともあるからこそ、知識を付けて自分で納得して前に進んでほしい。

〇自分の「だいじ」について考え、その「だいじ」を大切にした人生を送ってほしい。また、身体にもだいじな部分があり、許可なく人に見られたり、触られたりすることはできない。

〇生理、妊娠の仕組みについて詳しく教えていただいた。月経困難症についても取り上げられた。

→「生きる力」の基盤となる心と体の健康及び自らの将来を考えることができる良い機会になった。

【生徒の感想から】

〇生理と妊娠は女性のことだから関心がなかったけれど、講話を聴いて自分にも関係があり自分事として考えようと思った。

〇オープンに生理や妊娠のことにを考えることができてよかった。男子にも知ってもらえていい機会だった。

〇生理痛について理解したので、パートナーができたときは自分にできるサポートをしていきたい。

〇自分は妊娠できる体になっていることが分かった。無責任な行動は絶対しないと思った。

〇自分の「だいじ」をだいじにするため正しい知識を今後も知り、相手の「だいじ」もだいじにしていきたい。

【専門医派遣36】

**令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書**

学校名　五島市立翁頭中学校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **実施日** | 令和 6 年 12 月 18 日（ 水 ） | | | |
| **場　所** | 五島市立翁頭中学校　体育館 | | | |
| **講　師** | 医療法人社団　福江産婦人科医院　　池田　陽子　氏　（ 産婦人科医 ） | | | |
| **形　態** | （講話）・職員研修　・その他（　　） | | | |
| **参加者** | 生徒<br>（　全　）学年<br>（　63　）人 | 学校職員<br>（　8　）人 | 保護者<br>（　0　）人 | その他<br>（　　）<br>（　　）人 |
| **テーマと内　容** | テーマ【　思春期の性・心とからだについて　】<br><br>内容（具体的に）<br>1）結婚適齢期と出産適齢期について<br>2）SRHR について<br>3）LGBTQ+について<br>4）低用量ピルについて<br>5）デート DV について<br>6）子宮頸がんワクチンについて<br>7）プライベートゾーンについて<br>8）DVD 鑑賞 | | | |

**＜当日の様子＞**

**＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞**

【講師からの助言・指導】

・結婚適齢期≠出産適齢期

・低用量ピルは避妊のためというイメージが強かったが、月経の症状を緩和するために中学生でも使用している人は増えている。つらい時は我慢せずに相談を。

・HPV ワクチンの無料期間内に接種を。

・プライベートゾーンは見ない・見せない。

【成果や生徒の行動変容】

生徒の行動変化についてはまだ様子をみていく必要があるが、生徒からは「一人ひとりの命の重みを感じた」「LGBTQ＋の人が学校にもいるかもしれないと知り、これからは自分の言動に気を付けたいと思った」「自分の体は自分で守るために知識が必要だと思った」「ピルや子宮頸がんについて知れてよかった」等の感想があり、講演内容についてそれぞれが自分事として考えることができていた。

【専門医派遣事業37】

**令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書**

学校名　　新上五島町立若松中学校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **実施日** | 令和　6　年　12　月　2　日（　月　） | | | |
| **場　所** | 若松中学校　3階　ワークスペース | | | |
| **講　師** | 久米　可奈子　氏　　（　産婦人科医　） | | | |
| **形　態** | (・講話)　・職員研修　・その他（　　） | | | |
| **参加者** | 生徒<br>（　全　）学年<br>（　55　）人 | 学校職員<br>（　11　）人 | 保護者<br>（　0　）人 | その他<br>（　　）<br>（　　）人 |
| **テーマと内　容** | テーマ【　性に関する話　】<br>内容（具体的に）<br>〇性に関する情報源はどこから？（その情報は正しいのか、SNS・インターネットに要注意、子どもの SNS トラブル）<br>〇性的同意とは（プライベートゾーン、性的同意年齢）<br>〇性行為って何だろう（性犯罪にあうのは被害者にも問題がある→何も悪くない、10代の妊娠・出産、緊急避妊法と妊娠中絶）<br>〇性行と妊娠（女性・男性の性器、セルフフレジャー（自慰）、月経のしくみ、男女の違いを互いに理解する）<br>〇全ての恋愛はデート DV につながる（ジェンダーとセックス）<br>〇性感染症（STI）って何？　　〇子宮頸がんワクチン | | | |

**＜当日の様子＞**

**＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞**

・九州内の性犯罪のニュースや生徒たちの年頃の子どもがかかわった事件等を講話の中に盛り込まれたので、身近な事件のため、自分ごととしてとらえて講話を聞いている生徒が多数いた。そして、今回の講話で今すぐの変容ではなく、これからの長い人生で、しっかり考えて行動したいという意見が多くみられた。

・今までの学校での学習で、学ばなかった性教育の部分で、特に1年生で衝撃が強かったのか、気分が悪くなった生徒がいた。しかし、怖いと感じる講話の部分もあったようだが、知らないより、知っていた方がいい内容だと思って、講話をしっかり聞いている生徒が多かった。

・普段の生活の中では、性教育についてニタニタしている生徒がいるため、今回の講話も口元が緩んでいる生徒がいるのではと思っていたが、上記のような内容だったため、全員真剣な顔つきでしっかり聞くことができた。

【専門医派遣38】

**令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書**

学校名　対馬市立大船越中学校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **実施日** | 令和6年7月3日（水） | | | |
| **場　所** | 大船越中学校　多目的ホール | | | |
| **講　師** | 長崎県対馬病院　産婦人科　　山内　祐樹　氏　（　産婦人科医　） | | | |
| **形　態** | ・講話　・職員研修　　・その他（　　） | | | |
| **参加者** | 生徒<br>（　1・2・3　）学年<br>（　23　）人 | 学校職員<br>（　10　）人 | 保護者<br>（　7　）人 | その他<br>（　　）<br>（　　0　　）人 |
| **テーマと内　容** | テーマ【思春期のこころとからだ・知っておきたい妊娠の正しい知識】<br><br>内容（具体的に）<br>・望まない妊娠について　・避妊について　・性感染症について<br>・デート DV について　・不妊について　・LGBTQ について | | | |

**＜当日の様子＞**

**＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞**

・講師からのご助言：今、生徒に伝えないといけない内容がとても多岐に渡っている。離島の中学生だから性に関する問題やデート DV とは関係ないのではなく、現在は SNS の普及等で本土と変わらない状況にある。不安を感じたら病院を受診してほしい。また、子宮頸がんワクチンについては積極的接種を検討してほしい。

・生徒の変容等：感想等からは講演会を受講し、生命誕生の奇跡を再確認し、保護者に対する感謝の念や、周囲にいる人たちに対する気持ちの持ち方の変化（偏見等は持たず一人ひとりを尊重するなど）等が見られた。また、複数の女子生徒が子宮頸がんワクチンへの理解を示していた。

【専門医派遣39】

**令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書**

学校名　　対馬市立佐須奈中学校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **実施日** | 令和6年12月6日（木） | | | |
| **場　所** | 対馬市立佐須奈中学校　ワークスペース | | | |
| **講　師** | 長崎県対馬病院　産婦人科　山内　祐樹　氏　　（　産婦人科医　） | | | |
| **形　態** | ・講話　・職員研修　・その他（　　） | | | |
| **参加者** | 生徒<br>（　　全　　）学年<br>（　　15　　）人 | 学校職員<br>（　7　）人 | 保護者<br>（　0　）人 | その他<br>（　　）<br>（　　0　　）人 |
| **テーマと内　容** | テーマ【　1人1人が大切な存在　～性教育の基礎知識2024～　】<br><br>内容（具体的に）<br>・二次性徴について（男女の違い、月経について、ピルについて）<br>・妊娠から生命の誕生までの過程（動画）、出産の大変さ、命の尊さ<br>・望まない妊娠、避け方、虐待の増加<br>・性感染症の種類と予防方法、HPVワクチンや検診の参加<br>・デートDV（恋愛からデートDVに発展する可能性、SNSによる被害など）<br>・不妊症について（卵子が減少していること、男性も衰えること）<br>・LGBTQsについて | | | |

**＜当日の様子＞**

**＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞**

〇講師より

・目の前にいるあなたたちも奇跡。男女それぞれに相手の体を知り、思いやりをもって接してほしい。

・講話で話しきれなかった部分や、生徒が参考になる正しい知識を掲載しているホームページやYouTubeチャンネルをQRコードについて配付。

・講話後、性や生命誕生に関する書籍を100冊近く貸し出していただいた。

〇成果

・講師から借りた書籍について、1か月間図書室にコーナーを設け、生徒が自由に読めるように整備したところ、昼休み等に本を読んでいた。

・課題になっていた人との距離感について、講師の話が指導のきっかけになった。

【専門医派遣40】

**令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書**

学校名　　長崎県立対馬高等学校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **実施日** | 令和　6年　11月　12日（　火　） | | | |
| **場　所** | 長崎県立対馬高等学校　第1体育館 | | | |
| **講　師** | 長崎県対馬病院　小屋松　加奈子　　氏　　（　産婦人科医　） | | | |
| **形　態** | ・講話　・職員研修　・その他（　　） | | | |
| **参加者** | 生徒<br>（　全　）学年<br>（　377　）　人 | 学校職員<br>（　25　）人 | 保護者<br>（　0　）人 | その他<br>（　　）<br>（　0　）人 |
| **テーマと内　容** | テーマ【　　大人になる前に知っておきたい生と性のこと　　】<br><br>内容（具体的に）<br>・妊娠の仕組みと生命の誕生について<br>・LGBTQ（IA）＋について<br>・虐待死と人工妊娠中絶について<br>・望まない妊娠を避けるために（避妊）<br>・月経困難症とピルについて<br>・性感染症とその予防について<br>・子宮頸がんと HPV ワクチンについて<br>・運動部生の無月経について<br>・SNS を介した性被害や事件について<br>・妊娠適齢期について（卵子の老化） | | | |

**＜当日の様子＞**

**＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞**

・「性」＝「生き方」であり、正しい知識を持っていないと危険である。
・好きな人と愛し合うことは素晴らしいことだが、その延長戦上に性的接触を持った場合には妊娠のリスクが伴うことを理解する。また、子どもを産み育てる覚悟と環境ができるまでは、性交渉をしないことや正しく避妊することが大切である。
・緊急避妊ピルの知識を持ち、万が一の場合はできるだけ早く産婦人科へ相談できるようにする。
・SNS を介した性被害や事件に合わないために、プライバシーの公開はしない。
・月経困難症などの症状はピルの服用で緩和されることがあるため、産婦人科に相談してほしい。

・講演前には、性教育に対し恥ずかしさや拒否反応を示す生徒もいたが、講演後の感想文に「性について知ることは恥ずかしいことではなく、自分たちに必要なことだと分かった」と記入した生徒が多数いた。
・「自分のことも、パートナーのことも大切にする選択をしたい」という感想を持った生徒が多かった。